

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◇科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 39時間)

担当教員 : 川内谷一志, 渋谷 武 (全クラス担当)

授業の概要			
スポーツテスト(運動能力テスト, 体力診断テスト)を実施して, 個人の体力を把握させる。 実技種目では, 積極的, 意欲的な参加と活発的な活動を目指す。スポーツの実践を通じて, 責任感を持ち, 協調性のある行動がとれるようにする。スポーツマンシップについても十分な理解を促す。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1) (B1), JABEE 目標 (a) (c)	
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。(ゲーム)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1, 2	1. 陸上競技	○3年時に学習した走高跳を行い, 個々の記録測定を行う。	【理解の度合い】
3, 4	2. スポーツテスト	○{運動能力テスト(4種目), 体力診断テスト(4種目)}を正確に測定する。	
5-7	3. バレーボール	○男女混合チームもあり, 3年時よりさらに個人技能を生かしたゲームの展開と審判法の習得。	
8-11	4-1. ソフトボール・軟式野球(男子)	○試合に重点を置いて指導する。交代で試合結果表(スコア表)を記入する。	
	4-2. ソフト(軟式)テニス(女子)	○ダブルスのゲームを学習する。	
12, 13	5. 水泳	○クロール, 平泳ぎ, 横泳ぎ, 背泳の習得。	
14-16	6-1. 軟式野球(男子)	○個人の技能をさらに向上させ, 試合が楽しくできるようにする。試合結果表(スコア表)を記録する。	【理解の度合い】
	6-2. 硬式テニス(女子)	○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
17-20	7-1. サッカー(男子)	○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
	7-2. 卓球(女子)	○個人技能の習得後, ダブルスのゲームを学習する。	
21-23	8. バasketボール	○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
24-26	9. バドミントン	○男女共通の種目として行い, 個人技能を向上させ, ダブルスのゲームを学習する。	
履修上の注意		授業は時間厳守とする。	
教科書		高石昌弘, 小沢治夫ほか, 「現代保健体育」, 大修館書店。	
参考図書		秋山兼範, 麻生紘二ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館書店。	
自学上の注意		授業で行うスポーツのルールを調べておく。	
関連科目		保健・体育(3年, 5年)	
総合評価			【総合評価】 点
達成目標の(1)と(2)について実技で評価する。 総合評価=授業で行った各種目の実技点の平均 総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。 総合評価 60点以上を合格とする。再試験は, 実施しない。			